

寺
こよみ

七月

- 一日 お講・音沢(4)
 八日 花の会(於ビル館)
 一六日 法要実行委員会
 一六日 お経会(於ビル館)

永代祠堂会

- 一日十一時お講・中陣
 一時総代会・白鶴会
 物故者法要

- 一七日一時寺族物故者法要
 七時半お経会お初夜

- 一八日一時戦没者物故者法要
 一九日一時内陣法名法要

布教 高務哲量先生

七月十六日から恒例の祠堂会がつとまります。年も次のような特別法要を勤修しますので、ご縁のある方は是非お参り下さい。

寺報 善巧

発行
 〒938 富山県下新川郡
 宇奈月町浦山497
 白雪山 善巧寺
 TEL (0765) 65-0055
 FAX (0765) 65-0975

永代祠堂会

七月十六～十九日

布教使 高務哲量先生



野休み落語会二十周年——記念品の目録を読む永六輔さん——

いよいよ蓮如上人五百回遠忌が来年に迫った。各地でまたマスコミ等で蓮如上人讃仰の気運が高まりつつある。しかしこれを単なる一過性のムードに終わらせでならないのはいうまでもない。

二十一世紀を目前にした平成の世の我々は、蓮如上人の生きられた中世と共にいるとはよくされる指摘である。政治・経済・教育・医療・地球環境問題などの各分野が抱える諸問題は、戦後五十年を経て、時代が大きな転換期にさしかかっていることを物語っている。そしてひとり宗教だけがその時代に安閑としていられる時代ではない。ただしこのことは真実の宗教の果たす役割の重要性を意味しこそれ、伝統宗教の存在意義が終わったなどというのは見当違いの妄説である。

我々の御門主は、昭和十五年、第二十四代の本願寺門主を継職されるに当たり、広く内外に「教書」を

混迷と苦悩の時代こそ

「念仏は、私たちがともに人間の苦悩を担い、困難な時代の諸問題に立ち向かおうとするときいよいよその真実をあらわします。私はここに宗祖親鸞聖人の遺弟としての自覚のもとに、閉ざされた安泰に留まることなく、新しい時代に生きる念仏者として力強く一步をふみ出そうと決意するものであります」と。

時代の混迷と苦悩が深ければ深いほど、お念佛のみ教えは私たちに何が真実かを訴えかけてくる。お念佛とはそういうものなのだ。

蓮如上人が目指し、私たちに示されたこと、すなわちお念佛を究極のよりどころとしてこの人生を生きるという一点を私たちもきっと見据えておかなければならぬ。それが混迷時代を生きる我々に対する蓮如上人の生涯をかけられたメッセージである。

千福寺住職 高務哲量師

空華忌講話

平成八年十一月五日（その一）

利井明弘先生



「こへよく来られる永六
輔さんが職人について本を
出しましたね。ほくも職人
が好きなんです。この頃日
本には職人がおらんように
なつたそうですよ。なんで
も大量生産で、買った時が
一番値打ちがあつて、古くな
れば古くなるほど値打ち
が下がる物が多くなつた。
だけど昔の物は使えれば使う
ほど値打ちが上がつたんで
す。あいう物を作る人は
すごいですよ。私が大阪の
別院にいる頃ですけどね、
十三という所にあるお寿司
屋さんが、新しい丁稚を全
部大阪の御堂さんへ連れて
来て、そこで研修会をした
ことがあつた。そこでほく
たちが丁稚さんにしやべる

んでされども、引率して来る人が寿司屋の名人よ。すごいね、名人が握るとご飯つぶの数が五つぶも違わんそうです。おいしいお寿司というのは、田舎へ行く程のつてるネタが大きいと、いうことですが、名人に聞くとやつぱり一口に入るくらいの大きさで、そのご飯に合った小ぶりのネタがいいんだそうです。ベタツとかぶせるようにあるのはあれはニセモノやと言つてしまつた。お寿司は手で持つて食べるんですね。女人なんかよく醤油つけてお箸でご飯つぶバラバラになつてしまつて食べてる人があるけど、あれは手で持つてもつぶれないようを作つてあ

を入れたら、口の中の湿つた息と温かさでパラッと崩れるようになっているんですねって。そう握つてあるんですつて。それを鼻歌まじりにやるでしょ。一番理屈になつたことを、鼻歌まじりにできるのが名人なんです。職人なんですね。分かりますか。もしほくらがその真似しようと思ったら、ご飯つぶを一粒ずつ勘定しといてからなら握れるかもしれませんけど、それを全然知らん間にひよいとそんなやわらかさに握れるというのがすごいんですよ。

「世の中のこと、そらご
とたわごとまことあること
なきに、念佛のみぞまこと
にておわします」とあるの
は、歎異抄でしたね。私た
ちは仏さまにならしていた
だくという大きな利益をい
ただいたと安心できたら、
そのお札は念佛を称える、
御恩報謝。それが人間の中
の人間の名人になるんです。

「南無阿弥陀仏」これがなかなかでてこない。この頃、街でなかなかお念佛が聞けないようになつたでしょ。この十一月の暮れには小倉の方に行くんですけどね。そこに妙好人のおじいさんがおりましてな。これがほくの第二のふるさとみたいな、漁師のおじいさんですけどね。そのおじいさんがホテルにぼくを訪ねて来て、いろんな話を、御法義話をした後、その辺のうどん屋さんでお昼食べようと二人で入つたんです。ぼくがいたときましようと言つたらおじいさん合掌して「み仏

により…」って、いやそれだけやない、手を合わせていただきますというだけで、も、なかなかしにくくなつたでしょ。だからなおすごいいなあと思うのはね、本堂だつたら知らん間に手が合うでしょ。みなさんのお宅のお仏壇の前だつたら手が合うでしょ。合わん手が合つて、称えられん口から念佛が出る。そういう場所にはちゃんと一日の内に何回か行つておかないとね。この頃あつちこつちで歩いていても念佛ができるんだけど、だしくい霊園気というありますね。



富山教区黒西組
善巧寺衆徒

雪山俊隆

該寺住職に任する

門主



新住職誕生

善巧寺責任役員 鬼原勝次

我が善巧寺では、若様俊隆さんが六月十九日京都の本山で御門主から正式に補任されました。門徒一同この上ない喜び事でした。

住職補任式並びに研修には若様俊隆さんと総代鬼原勝次と野畠一雄の三人が出席しました。この補任式は、

第八十九回で北海道から沖縄まで九十六名、立合いの総代は総員百三名であります。午前九時阿弥陀堂で習礼、十時に御門主がお出ましになり、北海道教区から順次、住職と総代の二人が御門主から直接辞令を頂きました。御門主の御教辞では「寺には二つの柱がある。その一つは住職であり、もう一つは門徒である。この二つの柱ががつちり手を結び合って佛のみ教えを相續せよ」とお諭しになりました。

私は生涯に一度とないこの儀式に出席させて頂き（善巧寺では寺創設以来初めての出来事）、心の中で

普段の生活の中で、自分自身、変わろうと思つても、ななかなか変われませんが、こういう節目を予てもらつたおかげで、普段の生活からは得られないものを頂いてきました。

「御仏と皆様のおかげにより、このご縁に恵まれました。深くご恩を喜び、ありがたく、勤めます。」

积俊隆

お釋迦様がおさとりを得られた後、七日間、おひとりでこの楽しみを味わわれたとの故事を思い出して居ました。住職は佛と門徒をつなぐ心のかけ橋であります。

自分一人でなく大勢の門徒と共に歩む親鸞様の御弟子であつたと、深く心を動かされた次第です。

* * *

感激の一一周間

総代 野畠一雄

全国九十六ヶ寺の方々と共に正信偈を唱えて、しみじみ浄土真宗そして善巧寺の門徒であることを誇りに思ひ、先祖に感謝しました。

今回補任式を終えて夫々に継職できて良かつたと思えるよう努めして頂くことは言うまでもないが、私達門徒も応援していかねばと全

国の方々と話合いました。

来年の蓮如上人五百回忌法要にはきっとお参りしました。

うと約束して別れました。

ご門徒の皆様どうか若い新住職をしっかりと後押しし



次男教隆 専精舎に入舎

五月二十六日

古式ゆかしくとり行われる入舎式。学生に向つて僧鎔師の空華聖則を読む行信

教校校長。（写真右）

一昨年、この専精舎にご縁をいただいた方々が中心となつて、是非次男坊の入舎式をと、次の方々がおまいりました。（敬称略）

野島重一、藤沢潔、森岡昭二、八木秀雄、本波秀夫、田中まつゑ、野島はつえ、清水はな、高島有哲、神子久美、神子巧





おはなし 永六輔さん

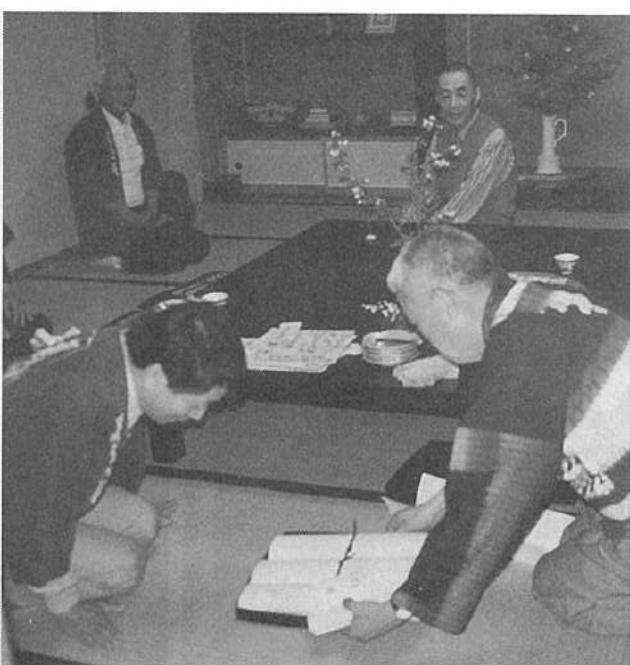
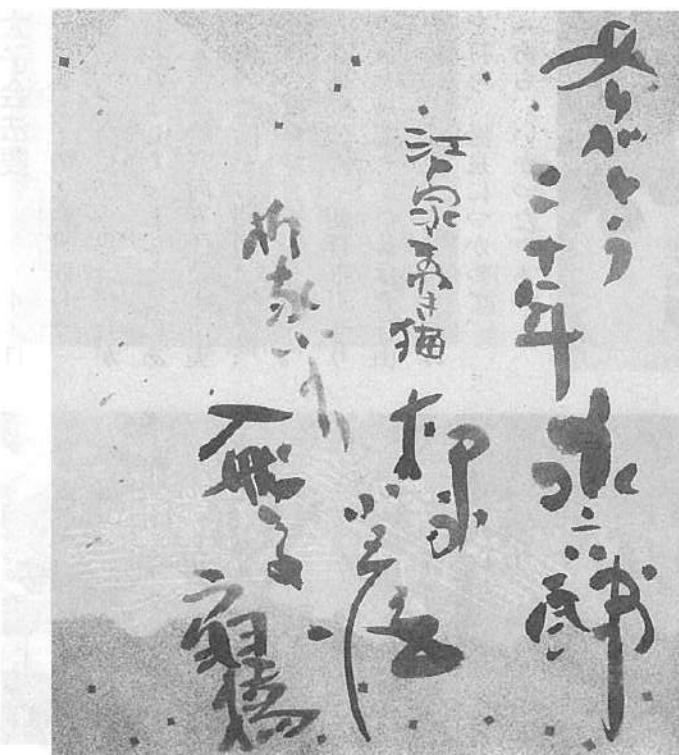
初めておいでの方が相当いらっしゃいましたので、ちょっとお話をされておきましたと、なぜお寺で落語をやっているかということなんですかけれども……。

今の落語、それから浪花節、昔は説教左工門とか、節談説教とかいう言い方がありますて、全部お坊さんのお説教がおもしろおかしく節がついて、浪花節になつたりする。つまり落語とか講談とか寄席の芸というのはお寺から生まれたんですね。従つて本家帰り、故郷に帰つてくるという感じで、さつき小のり君が前座をつとめましたけれども、お説教の会も前座という言葉を使い、それから手ぬぐいを使つたり扇を使つたりしますが、ああいうものもマンダラという仏教用語が使われるんですね。従つてお寺で落語会を二十年続けてきている。もちろん素敵なお寺です。

民館とかホールというようなものがある所でもお寺をお願いしております。昨日は郡上八幡の安養寺といふお寺でやつていて、お寺は別にお葬式だけの場所ではございませんで、本堂いっぱいに笑い声が響いています。お寺の一つのありましで、こちらのお寺ですと「雪ん子劇団」があつて、子供たちがこれまた元気な声を出している。本当はお寺つていうのはそういう存在でなきやいけないんですが、なんとなくお寺つていうと、「お葬式」となつてしまいます。つまり死んだらお寺というふうになりますが、お寺つていうのは生きている間に来て、生きる間にいろんな事考えた方がいいんですね。さきほどちらつと申しますが、ああいうものもマンダラといふお寺といふ環境をですね、人が集まつて楽しんだり勉強したりする場所というふうにお考えいただければと思います。

いんですね。あのだらしのない政治家が我々の命の終り方を決める事はないんです。これは親父、牧師、あるいは僧侶といふうに、宗教界がもつと力を入れてですね、人間の命の終りつて何なんだ、生きるつてどういうことなんだつてことを決めて、それから脳死の話になつたり臓器移植になつたりするんだつたらいいんですけれども、もつとお寺がですね、世の中に発言していく……政治的なという意味じゃないんですよ、発言をしていく場所であつてほしいな、と、それは一つの方法で、もう一つはこうやってみなさんを集まつていただきて、寄席を楽しんでいただくというのも一つ、雪ん子という劇団が活躍するのも一つといふうにお考えいただいて、お寺といふい環境をですね、人が集まつて楽しんだり勉強したりする場所といふうにお考えいただければと思います。





永六輔さん達にお礼を述べる高島大番頭

第21回 花の中のはつまいり 4/27



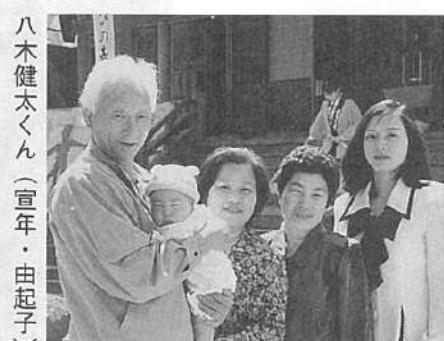
濱屋耕志ちゃん
(伊吹・千鶴)



本波文音ちゃん
(彰・真利子)



松木湧太くん(豊・真由美)



八木健太くん(宣年・由起子)

森岡楓・柊ちゃん(利広・浩美)



太子会法要

4 / 11

清掃奉仕ありがとうございました
4/21



日、太子会及び総代研修会が行われました。おつとめのあと入善芦崎宗円寺住職浦田実磨師の法話をお聴聞。その後、小雨のばらつく中をお花見に。入善運動公園、朝日舟川べりの桜を堪能して最後は天神山温泉に。花見弁当に舌つづみを打ち、温泉につかって、

「あら、いかつたやあ」



西の生活を終えてたゞ今かえりました」と毎回挨拶しています。おまけのお説教は法輪寺住職、照行寺若院、善巧寺坊守、若住職の四人が担当します。四月からはそのまたおまけがつきました。健康体操、ゲーム、おやつ、そして歌の練習です。

ジャンケンゲームでは熱が入つて大さわぎ。こんな大きな口を開けて笑うなんて久しぶり。「しんらんさま」の歌を練習していますが、バス旅行でガイドさんがこれを歌つたので一緒に歌えて鼻高々だったとか。あなたもどうぞ。

四月から若住職俊隆が帰つてきました。「八年間の関

えりました」と毎回挨拶し

ています。おまけのお説教

は法輪寺住職、照行寺若院、

善巧寺坊守、若住職の四人

が担当します。四月からは

そのまたおまけがつきまし

た。健康体操、ゲーム、お

やつ、そして歌の練習です。

ジャンケンゲームでは熱が

入つて大さわぎ。こんな大

きな口を開けて笑うなんて

久しぶり。「しんらんさま」

の歌を練習していますが、

バス旅行でガイドさんがこ

れを歌つたので一緒に歌え

て鼻高々だったとか。あな

たもどうぞ。

千福寺門徒会館竣工式参拝

5 / 25



五月二十五日、二台のワゴン車を連ねて福井千福寺（高務先生のお寺）に参拝。「一、二……何十畳あるがよ、でかい座敷やぜ。いくつ部屋あるか見てみよか。あ、エレベーターや、乗つ



てみんまいか」まあ騒々しいこと。厳かな音楽法要のあと「さよならの贈り物」のビデオ放映があり、今度は涙、涙。

「高務先生もようやつとられる。あ、いかつたやあ」



善巧寺第二十二世 住職継職法要

十一月三日勤修

まちかねた新住職が誕生し、そのおひろめの法要が十一月三日に勤修されるようになりました。さつそく法要実行委員会が設立され、三部会が設定されました。

この部会選定は総代会で事務局に一任されましたので、代表役員、責任役員、総代

代表で選任しました。

六月八日に第一回常縁部

会が開かれ、記念事業として増改築をどの程度すすめるか等積極的に話合われました。

この後も、この部会では第二回会合も開かれ、続いて、女性方による台所見学、第三回部会増改築説明会が開かれる予定です。

教化部会は第一回目の顔合わせが六月二十八日に行われ、記念行事の企画、運営について話し合われました。

教化部会は第一回目の顔合わせが六月二十八日に行われ、記念行事の企画、運営について話し合われました。

教化部会は第一回目の顔

合わせが六月二十八日に行われ、記念行事の企画、運営について話し合われました。

で僕は、帰ってきたんだ、という実感がもてる。

最近、いろんな方に会う中で、「若いのにえらいね」と言われることがある。うれしくないとは言わないが、これは僕に

善巧寺での生活が始まった。帰つてから約三ヶ月の間、僕は話す機会があるたびに

善巧寺での生活が始まった。終わり、ようやく四月から八年間の開西での生活も

善巧寺での生活が始まった。終わり、ようやく四月から八年間の開西での生活も



行信だより 教隆

前回この欄で、少しいい

話です。七年過ぎて、まだ

に父のお世話になつていま

す。

五月の下旬には行信教

りで一番大切な行事、専精舍

夏講が勤まりましたが、そ

こで初めて僕達新入生が専

精舎員として認められま

す。善巧寺の門徒さんにも

見守られ、父と同じ黄袈裟

をして出来るとと思うな馬鹿：

「褒められて、われ賢しと思ふなよ。真に褒める人の言葉だ。」
父はなかなかきつい言葉も残してくれた。今の僕にはこの「おかえり」のおかげでとても大切なものだ。

「ただいま」三ヶ月経つた今でもまだ言っている。
すると「おかえり」と返事が返ってくることがある。
この「おかえり」のおかげ

雄／野島義春／橋常由／板川久松／鳴田道幸／川瀬達也／大島清一／藤沢利雄／武／橋場正一／山内健二／新保栄一／浦瀧甚一／板川進／川瀬久義／板倉弘／浦安正／開沢弘／中坂宗作／森岡昭二／柄直一／八木秀雄／新保幸夫／神子勉／菊地れい／大藪富美子／板沢みつえ／神子久美／高島祥子／野崎吉明／二口実／岡田実／大藪良造／鳴田久之／開沢宏之／丸田久次／船屋幸弘／浦山久雄／大藪守／本波ときゑ／野島はづえ／清水はな（敬称略）

福井の姉のお見舞、おりの滋賀県の小学校の同窓会、横浜の次女の所へ息ぬきに、そしてこの度は京都の俊之の末の妹のお葬儀にと忙しく走りまわっている前坊守、

也／大島清一／藤沢利雄／

橋沢重盛／東狐幸一／野村五郎／山根駒義／高島有哲／神子巧／中山慶一／有馬文義／田中まつゑ子／櫻初枝／八木保子／本波悦子／高嶋彦久／中村忠夫／野崎吉明／二口実／岡田実／大藪良造／鳴田久之／開沢宏之／丸田久次／船屋幸弘／浦山久雄／大藪守／本波ときゑ／野島はづえ／清水はな

大きいなる湖ひろがりて
梅雨に入る
あじさいのかたまり咲きて
藍深し 喜子

寺ごよみ 八月 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

一日	お講・石田生地中新
一日	前々住職一周忌
三日	青年盆会
四日	盆おどり練習会
五日	こども盆おどり
六日	盆会
七日	音沢ご助成会

寺ごよみ 九月

一七日	一七日
二七日	二七日
五百回遠忌お待受	長野教区蓮如上人

玉雪院俊之法師一周忌法要

八月十一日 午後二時 勤修

法話 行信教校校長
利井明弘先生



前々住職俊之法師が還淨してはや一年、何かにつけては懐しく思い出されることです。暑い最中ですが、お祥月命日の八月十一日にお勤め致します。お参り下さい。

永代祠堂会

七月十六～十九日

永代祠堂会はお寺を護る門徒の皆さん全員のご先祖のご法事です。毎日特別法要がつとまりますので必ずおまいりください。

ご講師 千福寺住職 高務哲量先生

総代会・白鵠会物故者法要 七月十六日午後一時

亡くなられた総代さんのご家族と現総代さん、白鵠会物故者のご家族と白鵠会会員はお焼香していただきます。

寺族物故者法要 七月十七日午後一時

善巧寺、法輪寺、照行寺の物故者法要です。

お初夜 七月十七日夜七時半お初夜

戦没者追弔法要 七月十八日午後一時

戦没者のご家族、ゆかりの方々にお焼香していただきます。

内陣法名法要 七月十九日午後一時

お満座は内陣法名法要をつとめます。特別懇意志納の方の内陣焼香があります。

清掃奉仕お願い

七月六日午前八時半

祠堂会をひかえての清掃奉仕です。ご協力よろしくお願い致します。雨天の時は順延とします。

奉仕です。ご協力よろしくお願い致します。雨天の時は順延とします。

ウツラバンナ青年の集い ケーキ食べ放題

八月十三日夜七時半

音楽法要の後は、境内、会館で楽しく過して下さい。
中学生は九時まで高校生は十時まで、二十才以上は各々の判断で。

盆会

八月十六日午前十一時

お盆のお勤めをいたします。法話は住職。その後、総代会食があります。

この七年間住職亡きあとがんばってきましたよといふことをお知らせしようとしたことが、目障りに感じられる場合もあるということを知らされました。

ようこそ、ようこそ。

◆ ◆ ◆
十一月三日の住職継職法要に向けてお寺が動きはじめました。古き良き伝統を継承し、新しい時代に向つてイノベーション（変革）の時です。共に手をたずさえて。

「こども盆おどり」

八月十五日夕七時

色とりどりのちようちんの下で、ゆかた姿のこどもたちがかわいく踊ります。かき氷、水だんご、ゲームなど夜店も賑やか。どうぞお孫さんお子さんを連れておこし下さい。



黄 ◆ 紫 ◆

「雪ん子と若奥さんの記

事が多すぎないか」というご意見もありました。

平成10年本山団体参拝日程決まる

蓮如上人五百回遠忌法要

平成10年6月6日～8日

- 6日 朝出発 大谷本廟・本願寺・京都泊
- 7日 午前法要 午後比叡山めぐり（予定）
琵琶湖グランドホテル泊
- 8日 三井寺、信楽焼辺りで検討中
帰りは7時ごろの予定
- 費用 4万～5万円程度

ご本山をおまいりしたあとは、ゆつたりとした日程になっています。魚津、黒部、宇奈月地区のお寺でまいりますから、他のお寺の門徒の方々とも親しく交流できます。

めったにないご縁です。どうぞ、沢山の方々のお申込みをお待ちしています。

お申込みは 10月20日まで

